

伴走型DX戦略策定支援事業 [戦略策定]

事業説明会

アジェンダ

- ▶ 事業内容の説明
- ▶ 支援内容の説明
- ▶ 申請書の書き方

事業内容の説明

事業概要

DX戦略は、未来の経営判断を迷わないための設計図です。

自社の課題と目指す姿を整理し、効果的なデジタル活用を計画的に進めることで、生産性向上や新たな価値創出に繋がります。

専門家が企業を訪問し、業務・製造プロセスのデジタル化や経営改革を伴うデジタル投資に向けたコンサルティングを行います。

コンサルティングを通じ、企業が経営改革を通じて目指す(あるべき)姿の実現に向けたITシステムや組織体制の整備等の方策を取りまとめた「DX戦略」の策定を支援することで、計画的かつ効果的に経営改革を伴うデジタル投資を実行できる体制整備を支援します。(専門家の訪問は10回程度の予定)

専門家：ITコーディネータについて



2001年、通商産業省による国家プロジェクトの一環として
ITコーディネータ資格制度は設けられました。

募集企業

① 新規事業に取り組みたいと考えている企業

- ・データやデジタル技術を活用した新規製品・サービスの市場への提供を目指す企業
- ・データやデジタル技術を活用して既存のビジネスモデルを見直したい企業

② 既存事業の高度化を図りたい企業

- ・データやデジタル技術の活用を通じた既存製品・サービスの価値向上を追求している企業
- ・デジタル技術の活用で、多様な提供方法、既存製品の新市場開拓等長を目指している企業

③ 社内業務の高度化・効率化を実現したい企業

- ・データやデジタル技術の活用を通じた社内業務の品質やコスト、スピードの向上を検討している企業
- ・データやデジタル技術の活用で顧客価値の向上を模索している企業

新規事業開発の事例

株式会社フィッシュパス <https://fishpass.jp/dx/>



オンライン遊漁券アプリ
「フィッシュパス」の
企画・開発・運営

What

How



Why

いつもの釣りを安心・安全・便利に

デジタルで漁協収入の獲得
GPS監視で業務効率化
資源保護と環境改善

アプリで
365日24時間
どこでも購入

釣り情報
防災安全
保険付き

既存事業の高度化の事例

株式会社下村漆器店

<https://dishcook.jp/dishcook/dishcook>

How

ディッシュクックの調理のしくみ



dishcook
献立管理システム

献立レシピデータベース
栄養素計算
食材発注管理
自動加熱プログラム

加熱情報の管理・
フィードバック

レシピ選択/ボタンスタート
レシピに基づいた
IH自動加熱プログラムを送信

3点同時加熱& 自動調理

- ・カットした食材・調味料を
専用IH対応食器に盛り付けてスイッチオン
調理終了後はそのまま配膳可能
- ・加熱プログラムによる完全自動調理
ボタン一つでプロの味を再現
- ・ごはん・主菜・汁物(副菜)
3種類の料理を同時に自動調理



病院給食の現場は紙やFAXを使った伝達によるミスが多く、食材の発注業務や検品、カット作業など業務も煩雑です。スタッフが高齢だと入力や操作のミスも起きやすくなります。

Why

画期的な食事提供システム

IHフードカートを使用し、ごはん・おかず・汁物を
食材から同時に個別加熱調理するシステム。

献立と人数を入力すると自動的に食材費の計算・発注ができ、調理もカット食材を盛り付けてセットすればボタンひとつで予約加熱できるようにしました。発注もカット食材のメーカーとシステムを連携することで受発注の事務や検品が効率化され、下準備の手間も削減。少人数で厨房を回す体制が作れるため、人件費のコストダウンも図れます。

What

社内業務の高度化・効率化の事例

フクイリネンサプライ株式会社

正確な在庫情報が不足しているため商品の状況を把握しきれず、紛失した商品を自社で補填することも頻発していました。

Why

工場からの出荷時、取引先への搬入および回収時、クリーニング仕上げ時の4ポイントで商品に縫い付けたRFIDのデータを読み込むことで、商品のトレーサビリティを明確にしました。

How



What

所在がわからないユニフォームの状況を教えて欲しいといった問い合わせがあると、同社の社員がデータを調べメールで返答できるようになりました。また、商品に貼り付けたQRコードを取引先の担当者がスマートフォンで読み込むことで、納品履歴、洗濯回数などの情報を確認できるようになりました。

これまでの支援実績

年度	企業名	新しい事業価値(競争上の優位性)
2023年度	株式会社カガセイフン	ソバの実の長期保存と安定生産できるブレンド・製造技術
2023年度	キョーセイ 株式会社	押出成型と樹脂原料開発の可能性を追求し、チャレンジや提案を通じてお客様や社会に貢献する
2023年度	株式会社小林大伸堂	印鑑ではなく、お客様の想いを「しるし」として形に残す
2023年度	株式会社リホーム (現:株式会社NOKKI)	キッチンからインテリアをデザインする
2024年度	株式会社キッソオ	お客様一人ひとりにフィットするアクセサリーを主軸とした、おしゃれの新たな提案を行う
2024年度	株式会社天たつ	すべての人に、美味しさを伝える
2024年度	株式会社明光建商	これまでの事業価値 + 地域の快適な環境作りを担う
2025年度	アスワ電機株式会社	仕様決定プロセスから現地改造作業までの全工程の課題を解決する戦略的パートナー
2025年度	株式会社越前セラミカ	迅速な対応で「安心な暮らし」環境を提供

支援内容の説明

DXとは 経済産業省の定義

- ① 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、
- ② データとデジタル技術を活用して、
- ③ 顧客や社会のニーズを基に、
- ④ 製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、
- ⑤ 業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、
- ⑥ 競争上の優位性を確立すること。

How

手段

目的

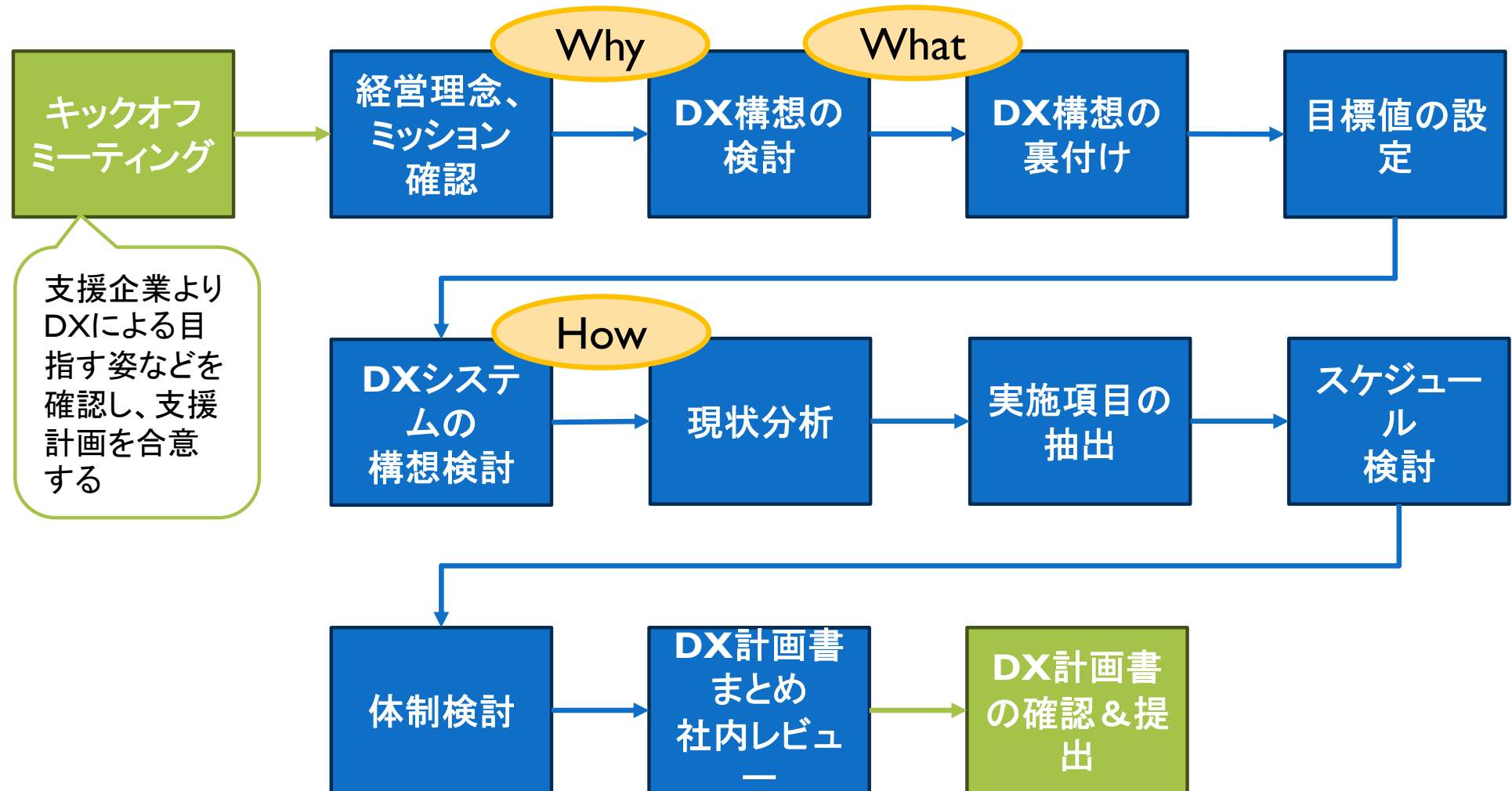
Why

経営改革を通じて目指す(あるべき)姿

What

競争上の優位性を作り出すため(生き残っていくため)に、
会社をどのように作り変えるかを、支援者と一緒に考える場です。
そして、その実現のための計画を作成します。

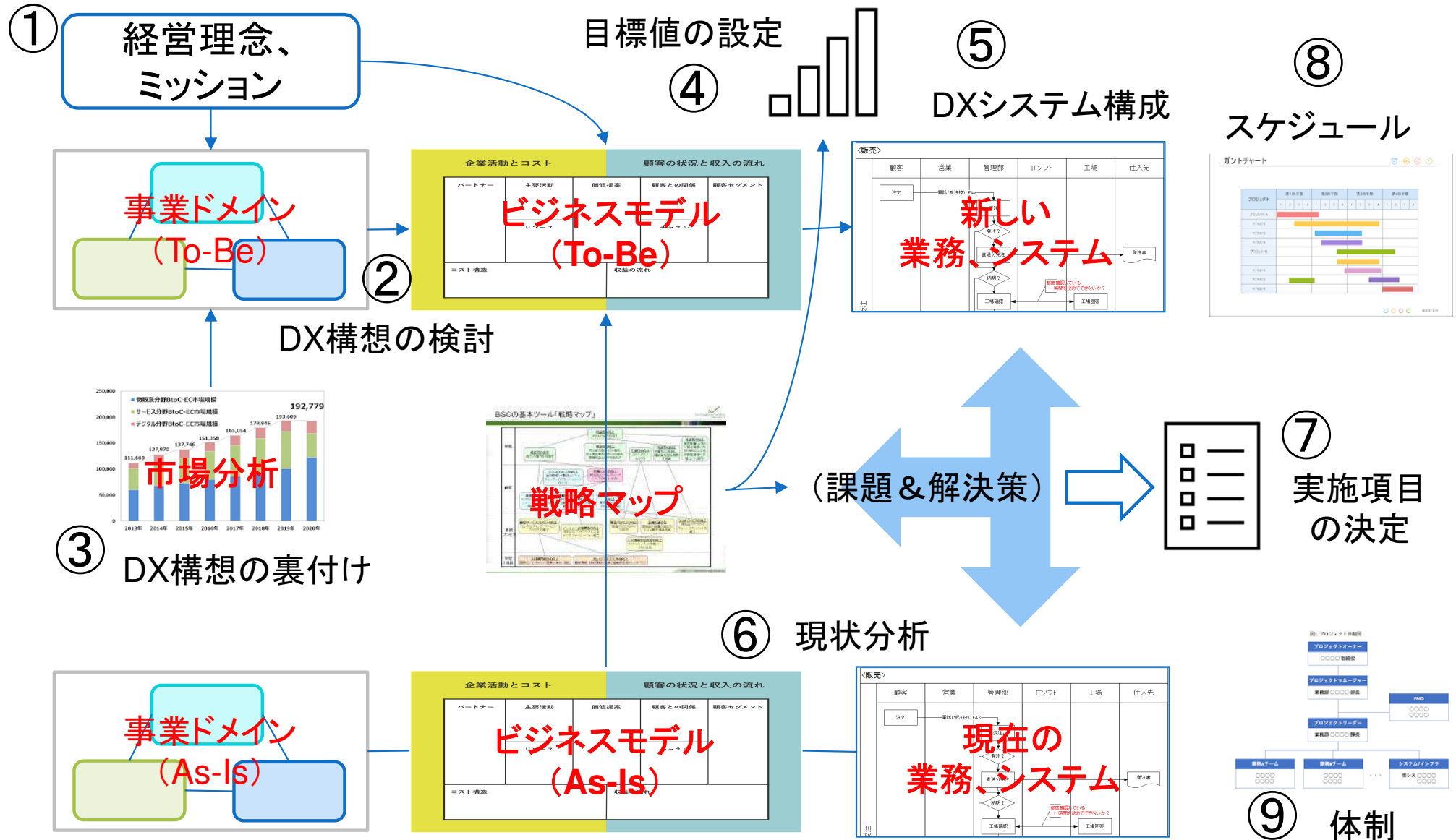
支援スキーム



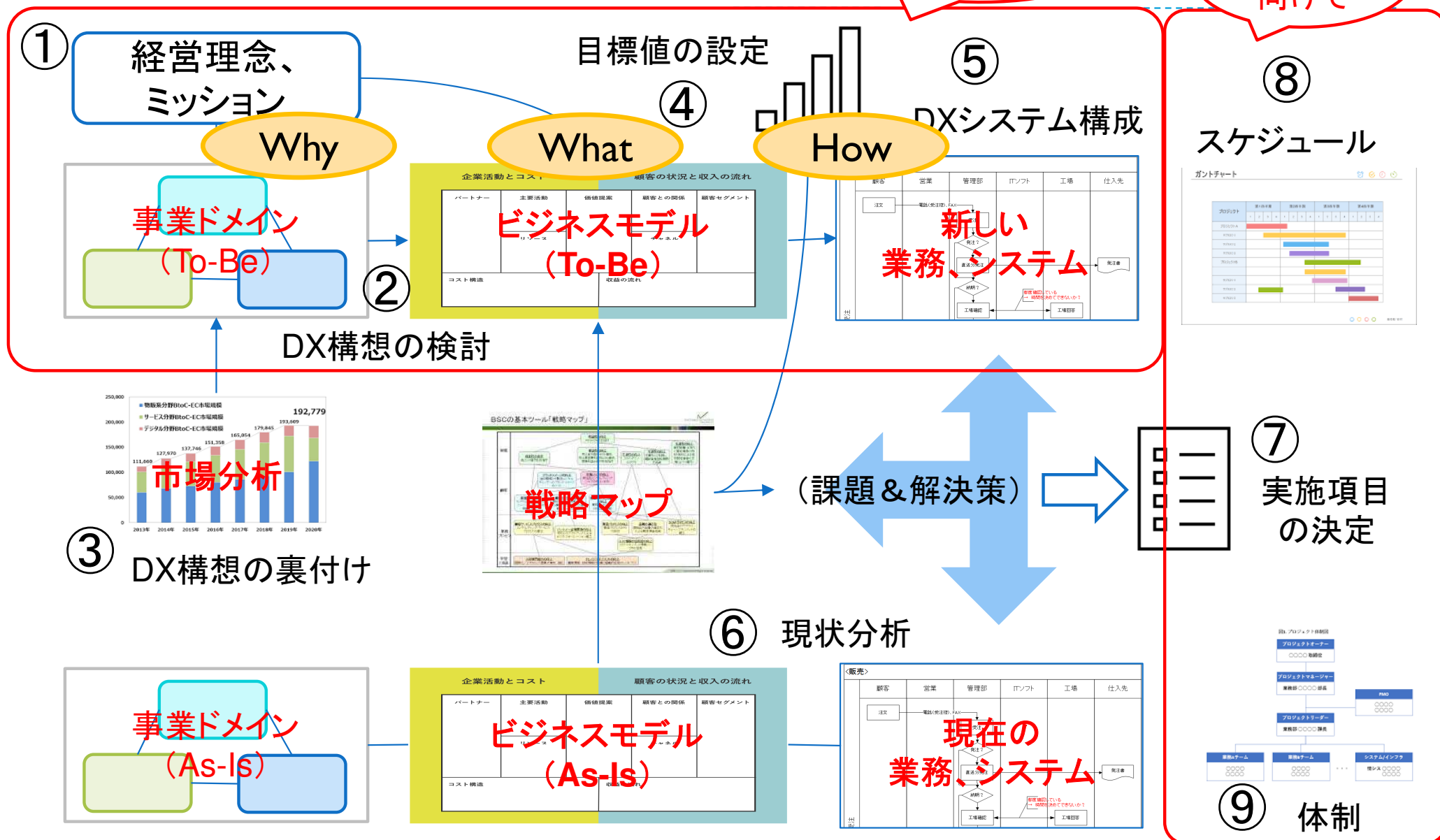
DX戦略（成果物）の事例

サンプルをご紹介します

DX戦略の構造

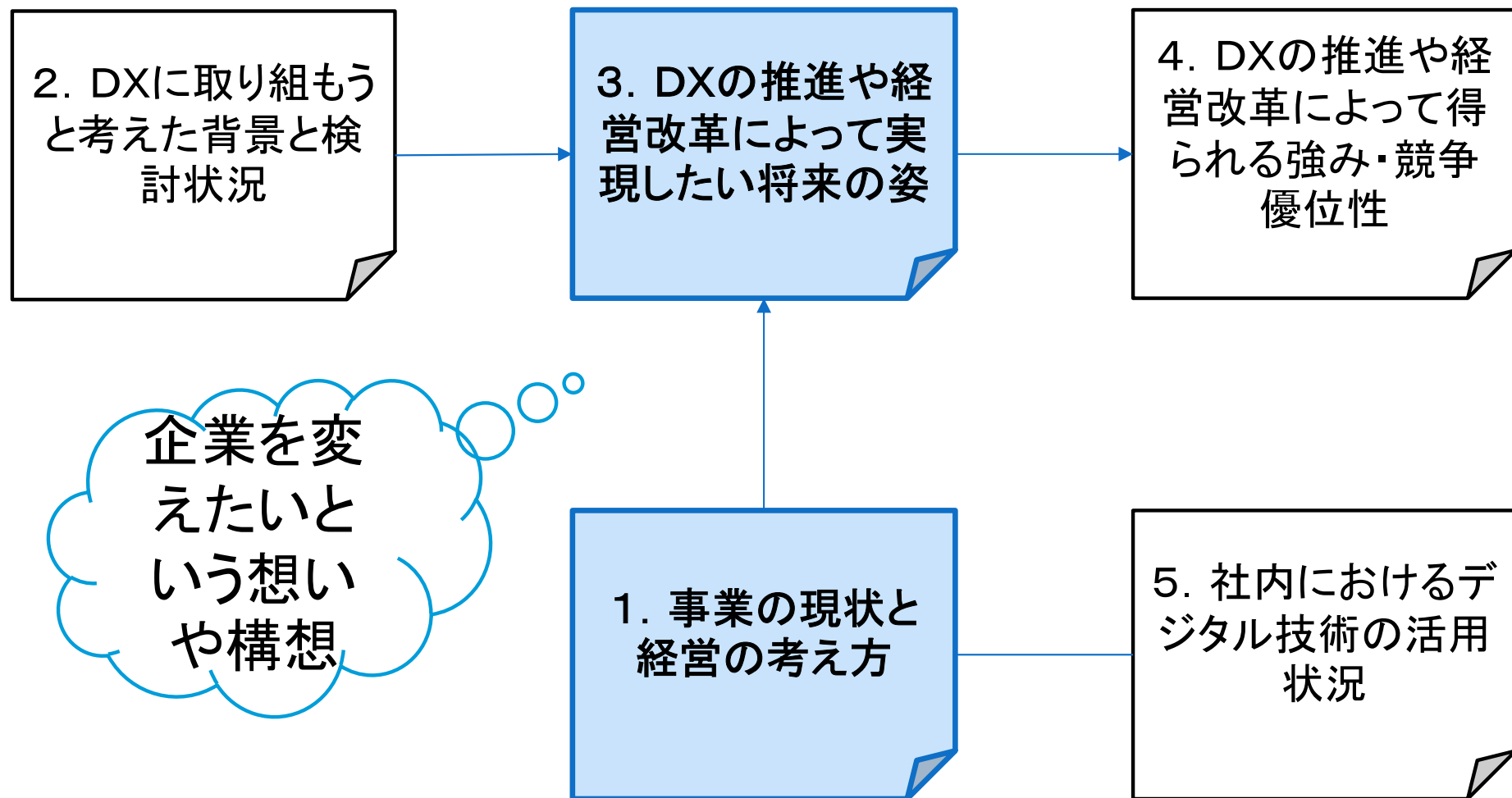


DX戦略の構造

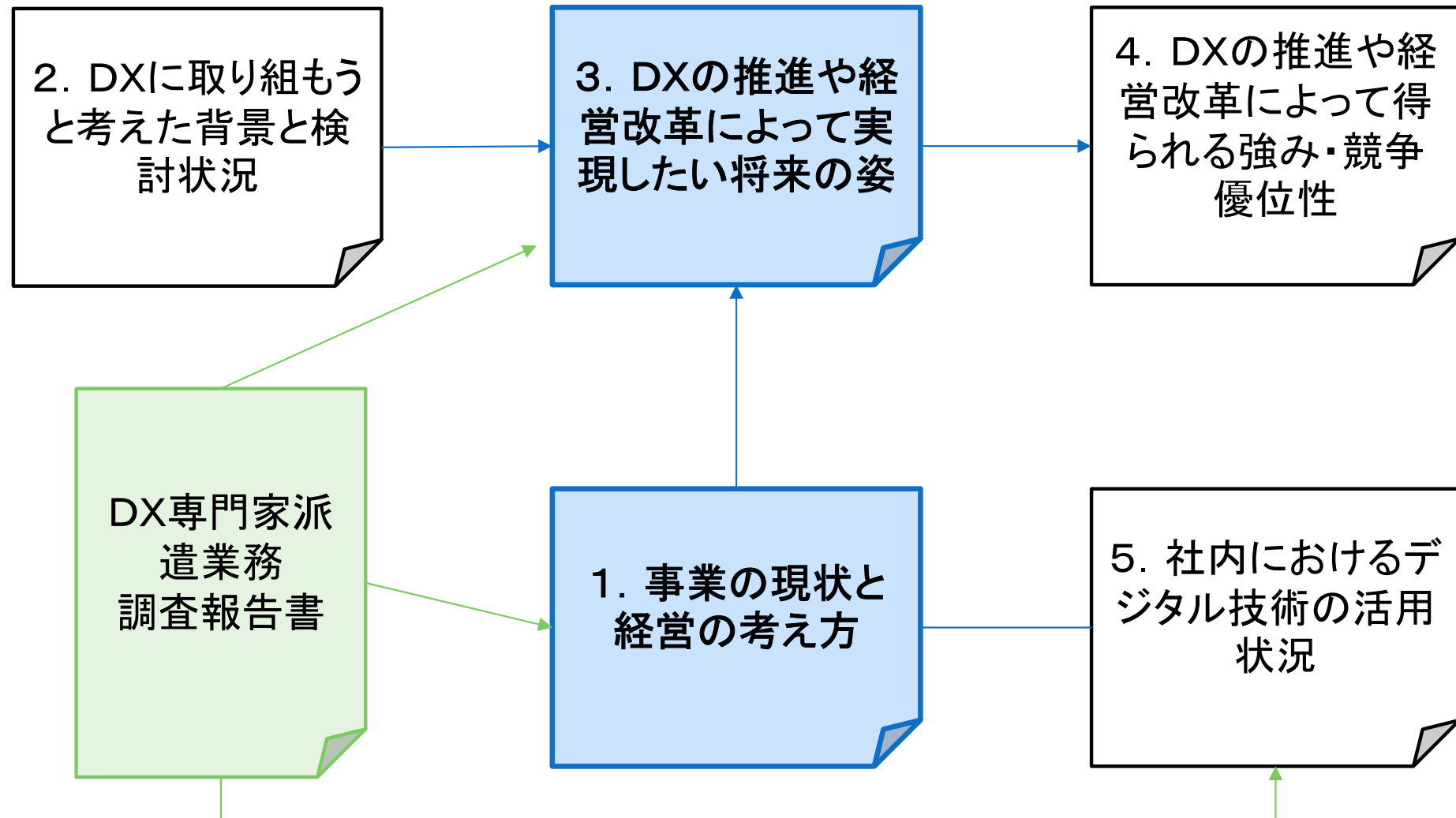


申請書の書き方

申請書の構造



DX専門家派遣を受けている場合



提供された「調査報告書」をもとに、記載することをお勧めします。

審査のポイント①

選考基準	内容	申請書
自社の現状	・自社の現況や課題を把握できているか ・課題の原因分析は十分に行われているか	1
自社の目指す姿	・経営改革を通じて目指す方向性や目標があるか	3
DXによる競争力強化	・DXによる経営改革を通じて、競争上の優位を生み出せる見込みがあるか	4
経営者の意欲	・経営者が自社のDX戦略策定の必要性を理解し、その策定に向けて自らが積極的に関与し、デジタル投資を進める意欲があるか	2
デジタル活用に向けた社内の状況	・すでに特定業務におけるデジタル化に着手している等、デジタル技術の積極的な活用に向けた取組みを行っているか	5
デジタル活用に向けた社内体制	・デジタル活用を推進するための社内体制が整備されているか	6
財務状況	・財務状況が良好であり、デジタル投資を実行できる資力があるか	別紙1
県内企業への波及効果	・県内企業のDX推進に向けた波及効果が期待できる取組みであるか	

審査のポイント②

